

パネルディスカッションを開催しました！



平成30年6月29日に松原市観光協会が設立したことを記念して、9月29日にまつばらテラス(輝)3階多目的ホールにおいて、『松原市観光協会設立記念パネルディスカッション「松原の観光を考える」』を開催しました。

当日は、台風24号接近により雨が降るあいにくの空模様となりましたが、午後2時からの開会式には、澤井市長をはじめ、国土交通省近畿運輸局観光部長 宮田亮氏、松原市観光協会エグゼクティブプロモーションアドバイザー 木広治氏にもご臨席を賜り、約130人の皆さんにご参加いただきました。

第一部として、「農商工連携による新たな観光産業の創出〜全国の例から松原市観光の可能性を探る」と題しまして、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部プロジェクトマネージャー 刀根浩史氏による基調講演が行われ、市民、農業、企業、自治体を巻き込んだ、まちをまるごと観光経営していく考え方や手法が紹介され、これまでは異なる観光に対する取組手法に参加された皆さんは熱心に耳を傾けておられました。

また、第二部では、「松原の観光って何だ？」をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネリストとして、学校法人阪南大学国際観光学部教授 松村嘉久氏、国の登録有形文化財である田中家住宅(松原市高見の里) 管理者 増淵昌利氏、松原市ボランティア連絡会代表 関野伸一氏をお迎えし、進行役を刀根氏が務め、各パネリストのこれまでの取り組み、活動を踏まえた上での、松原市の観光資源や可能性、目指すべき方向性などについて活発な意見交換がなされました。

パネルディスカッション終了後の参加者へのアンケートでは、「事例紹介でよく理解できた」「観光の取り組みにより市民満足度を上げることが大切だと感じた」「文化的アプローチや地域の取り組みの大切さがわかった」「松原市のPRに積極的に関わりたい」などの意見があり、今回の基調講演

演・パネルディスカッションを通じて松原市の観光に対する関心や興味、期待感を参加者の皆さんに持ってもらえたことができ、大変盛況の中無事終了することができました。

松原市観光協会は今後、市民の皆さんや地域の団体、さまざまな事業者、阪南大学など多くの人にご協力をいただき、また松原商工会議所として松原市と連携しながら、松原市の現在の観光資源をさらに磨き上げるとともに、新しい資源を掘り起こします。それらを上手く組み合わせ、松原にお住いの皆さんには、郷土に対するより一層の愛着と誇りを感じていただき、さらに、本市の観光の魅力を広くPR、情報発信することで、観光客を含む本市への来訪者を増加させ、地域の活性化を目指していきます。

▼問合せ 観光課 ☎3334・1550代表

松原市PR展 マッキーと遊ぼう！



松原市観光協会設立記念パネルディスカッションと併催で、1階では松原市PR展「マッキーと遊ぼう！」が行われました。

来場者の皆さんに松原市の魅力を知っていただくため、松原市観光PR動画の放映や観光パンフレットの配布をしました。

まつばらブランド [La matsubara] 認定品物産展ブースでは、地元産の美味しい品物を買求めるお客様が列をなしていました。

また、ゆるキャラ®グランプリ2018で上位を目指す、松原市マスコットキャラクター「マッキー」のグッズを集めた「マッキーフェア」では、松原市内事業者が作成したオリジナルのマッキーグッズが勢ぞろいしました。

参加者向けのイベントとして、まつばらテラス(輝)館内各所に3Dアートパネルが設置され、皆さん思い思いのポーズで写真撮影をされていました。

スーパーボールすくいやヨーヨーつりのほか、参加すると缶バッジ、マッキーLINEスタンプシール、マッキーミニタオルのいずれかを進呈するノベルティ付きワークショップ「マッキーぬり絵」と「お皿絵付け体験」が大変人気でした。

また、市内の菓子製造業がタッグを組み、「まつばらマッキーパフェ」が販売され、購入した人から「マッキーのゼリーが可愛くて食べるのがもったいない」などの声が上がりました。

屋外広場で予定していた「ふわふわ」は雨天のため中止となりましたが、複数の充実した館内イベントで、参加者にお楽しみいただくことが出来ました。



たくさんの人に喜んでもらえてめっちゃ嬉しいわ！おおきにやあ！



みんな楽しそうに絵付けしててっ！



パフェおいしい〜っ！



今後のスケジュール

観光振興の原点となる「街を舞台にした」着地型観光事業プログラム作成に着手します。その為に今後以下の取り組みを加速していきます。

- 松原の魅力抽出/歴史・古道・遺跡・文化財・寺社・食・産業・農業などから魅力抽出を行い、見る・触れる・体験・感動へ向けてブラッシュアップを行います。
- 松原の魅力発信/松原の「宝物・自慢できるもの・人に教えたこと」をまとめ、現在利用しているFacebookを含むSNSなどを活用した情報発信を内外に行います。
- 松原市民を巻き込み「愛ラブ松原」愛着心を醸成して行きます。

観光協会の思い

観光協会が設立されて早くも4カ月が経過致しました。私ども協会のメンバーは、現在松原市の観光振興による地域活性・発展という大きな目的を持って取り組んでおります。既存の観光資源のみならず、隠れた魅力の調査・取材・発掘を行い、松原市のまちを舞台にした「愛ラブ松原」の着地型観光プログラムを完成させていきます。地域が観光地や生活地として消費されるだけでなく、地域の皆様に愛着や誇りを持っていただき、長く愛される松原を目指し、そして、近隣の府・市町村、更には国内外の皆様にも訪れて頂ける「愛ラブ松原」を創り上げて参ります。

皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

松原市観光協会
事務局長 荻本 健二

